

行橋警察署交通安全ニュース 10月号

高齢者の運転事故が多発しています！

高齢ドライバーによる交通事故の現状

死亡事故の約半数が高齢者の運転によるもの

免許保有者10万人当たりの死亡事故件数割合を年齢層別に見ると、65歳以上の高齢ドライバーによる事故が全体の約半数を占めています。



原付以上運転者(第1当事者)の年齢層別免許保有者10万人当たり死亡事故件数割合(2021年)

出典：公益社団法人交通事故総合分析センター

その大きな理由は運転能力の低下！?

高齢者の事故の主な要因は運転ミスで、65歳未満と比べると約2.5倍に。

加齢などによって、運転に必要な身体能力・認知能力・視覚能力などが低下し、事故を起こしやすくなります。

また、緑内障という視野が欠けていく病気が70歳以上になると10人に1人が発症し、9割の人が自覚がないと言われています。

- 運転ミスが65歳未満の約2.5倍
- 操作不道・踏み間違いが多い

このうち、ハンドル操作ミス 12.3%、ブレーキとアクセルの踏み間違い 7.4%

このうち、ハンドル操作ミス 6.2%、ブレーキとアクセルの踏み間違い 0.8%



死亡事故の人的要因(2021年)

出典：令和3年における交通事故の発生状況等について(警察庁交通局)

専門家のコメント

「私の運転は危ないかもしれない」
 そう思うことは、事故防止に大きく役立ちます。周りを広く見る力や、危険に気づく力、ハッと反応する力は、年齢とともに変化します。
 サポカーは、皆さんの運転を様々な形でサポートします。自分に合った機能を選んで安心できるドライブを長く楽しんでいただきたいと思います。

名古屋大学 青木宏文教授

加齢による運転に関連する各種機能変化のイメージ



自身の運転能力を把握することは適切なサポート選びに役立ちます

ドライバーの安全運転を支援するサポカー

サポカーとは？

下記のような先進安全技術でドライバーの安全運転を支援してくれる車が、サポカーです。自動車メーカー各社は、さまざまな先進安全技術を搭載した車を開発、販売することによって、ドライバーの皆さまの安全運転をサポートしています。

止まるをサポート

衝突被害軽減ブレーキ



車載のレーダーやカメラにより前方の車両や歩行者を検知し、衝突の可能性がある場合にはドライバーに対して警報します。さらに衝突の可能性が高い場合には、自動でブレーキを作動します。

急発進や急加速防止をサポート

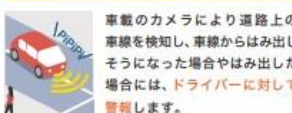
ペダル踏み間違い急発進抑制装置



停止時や低速走行時に、車載のレーダー、カメラ、ソナーが前後の障害物を検知している状態でアクセルを踏み込んだ場合には、エンジン出力を抑える等により、急加速を防止します。

はみ出さないをサポート

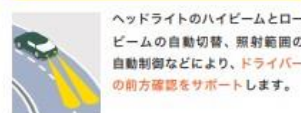
車線逸脱警報装置



車載のカメラにより道路上の車線を検知し、車線からはみ出した場合には、ドライバーに対して警報します。

危険を早期発見

先進ライト



ヘッドライトのハイビームとロービームの自動切替、照射範囲の自動制御などにより、ドライバーの前方確認をサポートします。

サポカーで事故のなんと42%を低減



平成29年5月～30年12月に起きた人身事故のうち、サポカーS(ワイド)※に該当する車両の登録台数10万台当たりの事故件数は、全体の登録台数10万台当たりの事故件数と比較して41.6%少なくなっています。

※サポカーS(ワイド)とは、衝突被害軽減ブレーキ、ペダル踏み間違い急発進抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。

出典：公益社団法人交通事故総合分析センター

その事故、サポカーで防げるかも…

行橋警察署管内交通事故発生状況(令和7年9月末まで)

交通事故全般						
地区	人身事故件数(前年同期比)		重症者数(前年同期比)		死者数(前年同期比)	
行橋市	228	+11	6	+1	1	±0
苅田町	182	+1	2	-4	0	-1
みやこ町	73	+11	4	+1	1	±0
合計	483	+23	12	-2	2	-1
高齢者関連事故(65歳以上)						
地区	発生件数(前年同期比)		重症者数(前年同期比)		死者数(前年同期比)	
行橋市	76	+7	3	±0	0	-1
苅田町	42	+14	0	-1	0	±0
みやこ町	26	+13	2	+1	0	±0
合計	144	+34	5	0	0	-1